



# 道内観光消費、2030年度は3兆円目標

観光機構

## 歴史、文化、体験型観光をPR

北海道観光振興機構(北海道倶楽部会)は、2030年度の道内観光消費について、19年度の2倍の3兆円を目指すことを決めた。歴史や文化、ワイン、体験型観光「アドベンチャー」をPR、国内外の観光客誘致に取り組む考えだ。組織名を「北海道観光機構」にすることも決定した。



札幌の繁華街ススキノ。観光客があふれる(北海道新聞社提供)

数値目標は24、人数は2倍超の500万人。30年度の中期目標を目指す。一方、道外客数は4割増となる「グランドデザイン」に盛り込まれた。それによる10万円の道内客数は約2割増の5200万人、消費単価は1万8000円に設定された。

19年度の観光消費額は、道内を訪れる海外客(インバウンド)の消費単価が、30年度目標が8割増の25万円、訪日客や道外客を上回っていたが、30年度目標が

達成されると、訪日客(1兆2500億円)が道内客(9360億円)を上回るようになる。目標実現に向けて、同機構は道産ワインを活用したテーマ型観光の促進、空港や鉄道などを利用する観光ルートづくり、観光ガイドの育成に取り組む。

小金澤健司会長は「道と連携しながら、観光満足度の向上や秋・春という閑散期の需要喚起などに向けて施策を打っていききたい」と話した。北海道観光振興機構は、

# 二トリ中国100店を達成

## 今後10年間で千店に

北海道観光連盟を前身に08年に発足。首都圏などでも道内観光のPRに力を入れてきた。「北海道観光の活性化が主眼の組織」とシンブルに発信するため、改称したという。



中国・重慶市内にオープンした二トリの店舗(北海道新聞社提供)

家具・インテリア製造小舗を同時開店した。この結果、中国大陸の店舗数が100店に達した。同社が中国に進出したのは2014年10月。武漢に中国初店舗を開店し、以来、上海、天津、北京など、着実に店舗数を増やした。生産拠点の中国大陸では、今後10年間で1000店の目標を掲げる。

28日オープンしたのは重慶2店舗と広州、南京のそれぞれ1店舗。重慶龍雲領天街店では、100店舗到達の記念式典が開かれ、商売繁盛を願う獅子舞が披露された。

あいさつに立った二トリHDの武田政則副社長は「二トリは中国の生産工場の方たちと商品を企画して成長してきた。中国は欠かせない存在だ」と話した。在重慶日本総領事館の高田真里総領事も出席、祝辞を贈った。

お急ぎの方はメールかファクスで要件をお知らせください。事務局員が出来る範囲で対応いたします。

### 事務局からのお知らせ

★道新プラス 道新受験情報2025高校生入試合格データ特集  
北海道新聞社編 B5判 242頁 定価990円  
公立・私立高校、高専の入試結果を徹底分析。特集は、内申点と入試点の相関表付き「ひと目でわかる合格ライン」、カラーグラフ「私たちの制服」など。

# 北海道新聞社の本

★北海道 昭和の鉄道風景 懐かしの汽車旅  
坂東忠明著 B5判 144頁 定価2200円  
鉄道とともに暮らした人々の記録写真集。羽幌線、胆振線、渚滑線、天北線、湧網線など廃止路線を中心に国鉄末期の北海道の鉄道風景を紹介。

# 釧路に国内最大級の製材工場

## 日本製紙跡地、2025年着工へ

日本製紙釧路工場の工場跡地に、国内最大級の製材工場が建設される。大手ゼネコン大林組の子会社で四国の製材会社「サイプレス・スナダヤ」(愛媛県と中部電力(名古屋)が7月1日、釧路市内に合弁会社を設立、発表した。

2025年5月に着工、道東一円に多くの原木生産地があることに加え、道外への製品出荷の拠点となる。中心に道産材を原料に使用し、日本製材工場は、紙から工場跡地約90万平方メートルのうち約19万平方メートルを受け、原木の製材、加工(160万立方メートル)の2割以上を一貫して行える製造ラインに上る見通しだ。

新会社の社名は「釧路ウッドプロダクツ」(仮称)。今年10月に資本金12億5000万円を設立する。スナダヤの砂田和之社長が新会社社長に就く。中電は脱炭素化が電力業界の課題になっていることから、道内での植林事業にも積極的に取り組む考えだ。釧路進出を決めたのは、



函館の鮮魚も運ぶ北海道新幹線(北海道新聞社提供)



新幹線で運ばれてきた函館の鮮魚を買い求める越谷市民(同)

イオン傘下のイオンリテール(千葉市)はこのほど、同社グループとしては初めて北海道・東北新幹線で運んだ函館産の「朝どれ」鮮魚を、首都圏の店舗で販売する取り組みを始めた。3店のうち埼玉県越谷市のイオンレイクタウンでは、6日、店員が「今朝獲れた北海道の鮮魚です」と買い物客にアピール。スルメイカを買った主婦は「新鮮でおいしいそう、刺身にします」と笑顔を見せた。同社は客の反応はよく、新幹線輸送を定期化する」と強調。また、PRイベントに登壇した鈴木直道知事は「道産品の良さを知ってもらいたいの、情報発信に力を入れたい」と話した。

新千歳空港で7月1日から、運転免許が不要な車両「電動小型モビリティ」の実証実験が始まった。写真、北海道新聞社提供

# 函館の鮮魚、新幹線で首都圏へ

## イオングループが取り組み

### スルメイカなど店頭

空港の移動小型モビリティで実証実験



新千歳空港で7月1日から、運転免許が不要な車両「電動小型モビリティ」の実証実験が始まった。写真、北海道新聞社提供



# 知内町のご紹介

## 「青函トンネル出入口のまち 知内町」

### 観光スポット

○矢越クルーズ  
道南の秘境と呼ばれる、断崖絶壁や青い海が続く矢越海岸(やごしかいがん)の一角を、小型船でクルージングするツアーです。小型の船で運行しているため、人が立ち入らない海岸の間際にまで近寄ることができ、秘境の雰囲気を感じることが出来ます。



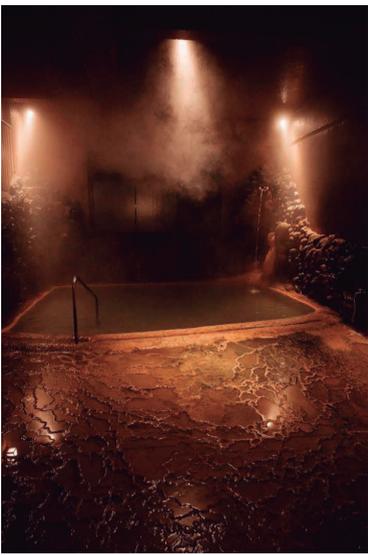
このツアーは単に乗船して景観を見るだけでなく、キャプテンによるガイドトークや、場面にマッチしたBGMも特長の内の一つです。

砂金を求める荒木大学の渡来に遡り、宝治元年(1247)に薬師堂を建立したのが始まりとされています。



その温泉は、異なる泉質とさまざまな効能により、訪れる人々を癒します。また、令和6年6月にオープンした「呼吸の間」は、日本初の「温泉×サウナ」のハイブリットサウナとなっており、サウナスーツにこだわりの、室内は常にフレッシュエアが循環し、芯まで温まるほどの温度ながら息苦しくないという特徴です。

○知内温泉  
開湯約800年を誇る知内温泉郷は天然湧出。北海道最古の知内温泉は歴史も古く「大野土佐日記」によれば元久2年(1205)、



○青函トンネル北海道側出入口  
青函トンネル(全長53・85キロメートル、海面下240メートル)は、1998年3月13日営業を開始し、北海道と本州を結ぶ大動脈として活躍しています。

知内町は青函トンネル北海道側の出入口になっています。



○重内神社・重内展望台  
知内町重内地区にある「重内神社」。その本殿の裏手には200段もの長い階段がまっすぐに伸びており、登りきった所にある社殿からは、頑張った所にある社殿からは、頑張った所にある社殿から、頑張った所にある社殿から、頑張った所にある社殿から、



○道の駅しりうち  
さまざまな施設があり、その一つである知内町産館販売コーナーには、近所農家さん野菜コーナーが景を見ることが出来ます。また、その時期の新鮮な野菜が安値で販売されています。また、知内町の材料を使用したお菓子や知内限定の日本酒なども販売しております。ぜひ立ち寄ってみてください。

### 知内町へのアクセス

東京都から新幹線で約4時間(乗継なし) 函館市から車で約40分の位置にあります。

●自動車  
函館市から42キロメートル(約1時間)

●道南いさりび鉄道  
函館駅から木古内駅(約1時間)  
木古内駅前から町民センター前(路線バスで約17分)

●北海道新幹線(上り)  
新函館北斗駅から木古内駅(約13分) 木古内駅前から町民センター前(線バスで約17分)

●北海道新幹線(下り)  
東京駅から木古内駅(約4時間10分) 新青森駅から木古内駅(約1時間)  
奥津軽いまべつ駅から木古内駅(約40分) 木古内駅前から町民センター前(路線バスで約17分)

URL: <https://www.town.shiryuchi.hokkaido.jp/about/gaiyo/kotsuaccess.html>

## 市町村から

### 村上屋のランチ

コロナ騒動の最中2019年から始まったムラカミヤのランチも5シーズン目に突入し、日々食材と向き合い年々改良を重ねています。

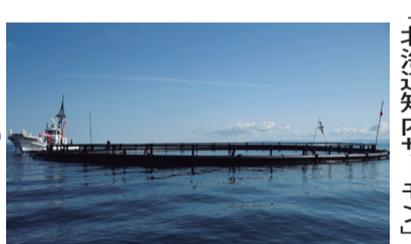
例年好評であるウニ丼は一年分のウニを食べるのにはないかというほどのボリューム。



## 市町村から

### 養殖サーモントラウト

現在の道内では唯一、外海で養殖が行われ、道内最大規模の養殖施設です。



令和5年10月に知内町森越沖でサーモントラウト「北海道知内サーモン」の養殖試験を開始しました。直径40mの生け簀が友好町の青森今別町から森越沖に曳航し、同年11月に300,400gの種苗を約5万5千匹投入。令和6年7月に約150tが水揚げされました。

知内町小谷石地区で見られない景色と食べられない味をご賞味ください。

「北海道知内サーモン」の養殖試験を開始しました。直径40mの生け簀が友好町の青森今別町から森越沖に曳航し、同年11月に300,400gの種苗を約5万5千匹投入。令和6年7月に約150tが水揚げされました。



○知内町の特産品  
北海道一の生産量と質を誇るニラ「北の華」  
葉の幅が広く肉厚で、食べると甘くシャキシャキとした食感が特長です!  
風味が豊かなので、おひたしにしても、とても美味しくて、

・外海育ちがおいしい「秘」  
津軽海峡の速い海流で育った「知内カキ」。全国的にも珍しい外海での養殖は、充分に栄養を取り込んで、大きく身の縮まったカキを育てます。  
生でもよし、調理してもよし、栄養分が乏しがち

・知内産高級魚「マコガレイ」  
城下ガレイとして全国的に知られている高級魚である「知内町のマコガレイ」は、暖流と寒流が交わる津軽海峡の知内沖合いに生息しており、北の海の過酷な環境に耐えるため脂を豊富に蓄えた天下の絶品です。

## 移住サポート

### 空き家リフォーム・購入等支援事業

近年、人口減少や少子高齢化など社会環境の変化に伴い、全国的に空き家が増加し、社会問題のひとつとなつていく状況から、知内町では空き家に関する様々な支援を行っております。

その一つとして、当町への移住や定住を支援し、空き家を有効活用するため、新たに空き家を購入および購入した空き家のリフォームを行う際の費用の一部を補助しています。

事業費の1/2以内(上限200万円)

○担い手センター  
知内町では、町内で短期・長期間の就業研修などを行う方向けの施設「しりうち地域産業担い手センター」外観

うち地域産業担い手センターを完備しています。

この施設は全国的に珍しいCIT(Cross Laminated Timber(クロス・ラミネーティッド・ティンバー))で建設された建物となっております。

また、施設内には生活用品や寝具なども完備されており、手ぶらでお気軽にご利用できます。

※CITとは「Cross Laminated Timber(クロス・ラミネーティッド・ティンバー)」の略で、一定の寸法に加工されたひき板(ラミナ)を繊維方向が直交するように積層接着した木材製品です。

【利用例】  
・農業・行業での就業に向けた長期研修(2年間)  
・企業や農業法人などでの就業研修(最長1年間)

「しりうち地域産業担い手センター」外観

## ふるさと納税

### 令和5年度ふるさと納税

令和5年度ふるさと納税前年比72%増!  
令和5年度のふるさと納税寄附金として、全国各地から約4.9億円のご寄附をいただきました。

前年度の寄附額と比較し、約72%増の過去最高額となりました。

特産品である牡蠣やニラをはじめ、お米、スモークサーモン、ウニ、ホタテ、

非常に食など、300点以上を返礼品として取扱っており、令和5年度からは「トラウトサーモン」の刺身など約30点を新規返礼品として追加しました。

ふるさとと納税返礼品の一例

←詳細はこちら町のHPへ

# 「未来をつくるハブタウン きこない」

## 観光スポット

○サラキ岬に眠る「咸臨丸」の沖合約2km、水深約20m。咸臨丸は、1857年のところから引き上げられ、今なお調査が進められ、チヌリップで有名なオランダのキンデルダイクで建造されました。

1860年には、勝海舟、福沢諭吉、ジョン万次郎など百名以上を乗せ、日米修好通商条約の批准書を交換するためにアメリカへと渡った使節を護衛する同伴艦として太平洋を渡るなど活躍しましたが、晩年は変革の波に巻き込まれ、北海道への運搬船となりました。



### ○「いかりん館」

木古内町郷土資料館「いかりん館」。特に人気が高いのが、咸臨丸のもの。推定されるイカリ。サラキ岬

北海道新幹線で木古内駅に着いたら、道南いさりび鉄道で車窓から海を眺めながら、旅情あふれるひとときを満喫できます。



道南いさりび鉄道



1871年9月20日、箱館経由で小樽に向かう途中、木古内町のサラキ岬で座礁。乗船者は救出されましたが、咸臨丸はその数日後に破船沈没しました。

### ○鉄道

木古内町内には、3つの鉄道が走っています。北海道新幹線と道南いさりび鉄道、そして道南トロッコ鉄道です。



木古内駅外観

2016年3月に開業した北海道新幹線は、青函トンネルを抜けて木古内と東京を約4時間で繋ぎます。

町内に新設された北海道新幹線ビュースポットからシャッターチャンスを狙うのもオススメです。

江差町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、木古内町の魅力を発信することです。

その特徴を表すものとして、施設には高品質な情報提供を行う「観光コンシェルジュ」、魅力ある周辺地域の逸品を集めた「特産品ショップ」、道南エリアの食材をふんだんに活用する「レストラン」などあります。

### ○佐女川神社

1831年に寒中みそぎ祭りが始まるきっかけとなった神社。1625年に松前藩河野加賀守源景広が佐女川の辺りに祠を建て、武運長久を祈願されたのが始まりとされています。祠にまつられているのは日本の初代天皇・神武天皇の母「玉依姫命」です。この河口に建てられた神社の主祭神が玉依姫命だったことから、女神に助けを求めらう川として「佐(助けるの意)女川」の字をあてたという伝承も立地です。広大な北海道を



## 市町村から

### ○木古内町とは

木古内町は、青函トンネルを抜けて北海道で最初に新幹線が通る町で、北海道内では夏は涼涼、冬は温暖な気候です。

まちの89%を占める森林と津軽海峡に囲まれ、農業、漁業、林業が営まれており、甘みが強く、ふっくらとしたやわらかさが特徴のブランド米「ふっくらんこ」や、自然に触れながら育てられる褐毛和種牛「ほこだて和牛」が特産品となっています。

### ○寒中みそぎ祭り

毎年1月13日から3日間の日程で行われる、木古内町最大のイベントです。行修者と呼ばれる4人の若者が佐女川神社に籠も

### ○アイアンマンジャパンみなみ北海道

2024年9月15日に北斗市と木古内町でワールド・トライアスロン・コーポレーションが主催する一連のトライアスロン大会が開催されます。

地域の豊漁・豊作を願う伝統神事は、江戸時代から続き、2023年には北海道無形民俗文化財に指定されています。イベントでは、冬花火やグルメフェスなども同時開催されます。



1のあか牛です！是非ご賞味ください。

### ○みそぎの舞

生産量の少なさと、町内でしか流通しないというところで「幻の酒」とも呼ばれるみそぎの舞は、町内のたつた1軒の農家でしか生産されない食用米「ほのか224」を原料とし、姉妹都市である山形県鶴岡市で醸造されています。



## 移住のしるし

北海道新幹線の木古内駅があることから、北海道の玄関口として首都圏とアクセスがしやすく、2022年3月には函館・江差自動車道木古内インターチェンジが開通し、交通の利便性が高まっています。

子育て支援として、保育施設の保育料と高校生までの医療費の無償化などのサポートを充実させ、2022年4月には「みらいある条例」を制定するなど、道内最大級の移住促進を実施しています。

子育て世代への経済的支援を行うほか、きこない大産業魅力フェアの開催費や大学生が木古内町で行うフィールドワークの補助金に活用しています。

## 子育て納税

木古内町では、皆様からいただいたふるさと納税を財源に高校生までの医療費や学校給食費の無償化、出産祝い記念品、小中学校への入学祝い記念品の贈呈など子育て世代への経済的支援を行うほか、きこない大産業魅力フェアの開催費や大学生が木古内町で行うフィールドワークの補助金に活用しています。



## 木古内町へのアクセス

URL : <https://www.town.kikonai.hokkaido.jp/access/>

### Access



○みらいある条例  
移住と町民の定住を促進するため、2022年4月から制定された条例で、町内にマイホームを取得して居住する場合に補助金も



○子育て支援  
子育て支援として、保育施設の保育料と高校生までの医療費の無償化などのサポートを充実させ、2022年4月には「みらいある条例」を制定するなど、道内最大級の移住促進を実施しています。

○子育て世代への経済的支援  
子育て世代への経済的支援を行うほか、きこない大産業魅力フェアの開催費や大学生が木古内町で行うフィールドワークの補助金に活用しています。

○返礼品は、「米の食味ランキング」で特A評価を獲得したことがある木古内町産米「ふっくらんこ」やほのか224(加工品含む)、みそぎの舞が人気です。ふるさと納税は生産者への応援にもなりますので、木古内町と生産者を応援しながら木古内の食材で食卓を彩ってはいかがでしょうか。





# 暑中お見舞い申し上げます

 <p>たんばく質を、もっと自由に。 Nipponham Group Vision 2030</p> <p><b>日本ハム株式会社</b> 代表取締役社長 井川 伸久 〒530-0001 大阪市北区梅田二丁目4番9号 06-7525-3026</p>	 <p><b>飯能ゴルフクラブ</b> 名誉理事 弁護士 <b>五十嵐 紀男</b> 〒357-0013 埼玉県飯能市芦刈場495番地 TEL 042-972-3680~4 FAX 042-972-3685</p> <p>山田・尾崎法律事務所 〒107-0052 港区赤坂7-5-7赤坂光陽ビル5F TEL 03-3585-7451 FAX 03-3585-7452</p>	<p>代表取締役社長 <b>有田 真</b> 〒060-0004 札幌市中央区北四条西一丁目 北農ビル12階 代表電話 〇一(一)三三三三三三三三</p> <p><b>よつ葉乳業株式会社</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>荒金 廣明</b> 専務取締役 <b>山木 正博</b> 常務取締役 <b>宮下 博</b> 〒175-0081 東京都板橋区新河岸一七七一 TEL 〇三(三三九三三)二九二二 FAX 〇三(三三九三三)七二七七</p> <p><b>株式会社 広報ブレイス</b></p>	<p><b>スパークス・グループ株式会社</b> (コード 8739 東証プライム市場)</p> <p>代表取締役社長 <b>阿部 修平</b> 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス6階 TEL (03)6711-9100</p>
<p>代表取締役社長 <b>大谷 清介</b> 本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目八十一番五 電話 〇三(三三三三三)三三三三 電話 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>戸田建設株式会社</b></p>	<p>理事長 <b>大久保 尚武</b> 〒100-0014 東京都千代田区永田町二丁目七十七 永田町ほつかいどくエアー1階 TEL 〇三(三三三三三)四〇二二 FAX 〇三(三三三三三)四〇二二</p> <p><b>公益社団法人北海道倶楽部</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>鴉飼 勇人</b> 本社 札幌市豊平区豊平六条六丁目五番八号 電話 〇一(一)八八八(一)二二 東京支店 東京都中央区日本橋小堀町十一番十号 電話 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>丸彦渡辺建設株式会社</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>岩田 圭剛</b> 取締役専務執行役員 <b>山崎 智生</b> 本社 北海道札幌市中央区北一条東十七丁目二番地 電話 〇一(一)三三三三三(代表) 東京支店 東京都代田区船場三番五 船場ビル1111 電話 〇三(三三三三三)一五八一(代表)</p> <p><b>岩田地崎建設株式会社</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>市原 伸一</b> 本社 〒115-0016 東京都江東区東陽一丁目二 新野ビル3F 電話 〇三(三三三三三)九〇四二 FAX 〇三(三三三三三)九〇四二 https://www.o-tec.co.jp</p> <p><b>株式会社 オートテック</b></p>
<p>代表取締役社長 <b>川村 隆</b> 郵便番号 〇一八二八〇 東京都千代田区丸の内一丁目六番六号 TEL 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>株式会社 日立製作所</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>狩野 伸弥</b> 東京都新宿区西新宿六丁目二二 新宿スクエアタワー1 電話 〇三(三三三三三)四二二二 FAX 〇三(三三三三三)四二二二</p> <p><b>太平ビルサービス株式会社</b></p>	<p>名譽顧問 <b>上條 努</b> 〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目二二</p> <p><b>サッポロホールディングス株式会社</b></p>	<p>理事 相談役 <b>岡村 進</b> 〒100-0014 東京都千代田区永田町二丁目七十七 永田町ほつかいどくエアー1階 TEL 〇三(三三三三三)四〇二二 FAX 〇三(三三三三三)四〇二二</p> <p><b>公益社団法人北海道倶楽部</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>大谷 正則</b> 執行役員 <b>松本 実</b> 〒060-8554 札幌市中央区北四条西四丁目一 電話 〇一(一)二二二(代表) 〒103-0006 東京都中央区日本橋領町十番十号 MAYARK日本橋ビル 電話 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>伊藤組土建株式会社</b></p>
<p>代表取締役社長 <b>島津 勝一</b> 〒060-0005 札幌市中央区北五条西二丁目5番地 JRタワーオフィスプラザさっぽろ9階 TEL 〇一(一)二〇九一五〇五〇 FAX 〇一(一)二〇九一五〇五〇</p> <p><b>札幌駅総合開発株式会社</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>佐藤 雅俊</b> 〒065-0043 北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号 電話 〇一(一)七〇四(三三三)二二二</p> <p><b>雪印メグミルク株式会社</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>栗林 和徳</b> 本社 北海道室蘭市入江町一丁目一九九番一 電話 〇一(一)四二四(一)七〇二(代表) 東京支店 東京都千代田区丸の内三丁目二二番一 電話 〇三(三三三三三)三三三三(代表) FAX 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>株式会社 栗林商会</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>窪田 大介</b> 〒105-8435 東京都港区虎ノ門一丁目七二番二 虎ノ門ファーストタワー1階 電話 六八二二一八三〇</p> <p><b>株式会社 北海道新聞社</b></p>	<p>代表取締役 <b>木内 幸一</b> 本社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目14番15号 岡崎ビル607号室 電話 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>株式会社 新栄リテンション</b></p>
<p>相談役 <b>鈴木 秀一</b> 東京都足立区江北二丁目一八番一 電話 〇三(三三三三三)九一五六</p> <p><b>無臭元工業株式会社</b></p>	<p>衆議院議員 <b>鈴木 貴子</b> 自由民主党青年局長</p>	<p>会長 <b>新家 鶴男</b> 〒100-0014 東京都千代田区永田町二丁目七十七 北海道東京事務所内 電話・FAX 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>北海道ふるさと会連合会</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>清水 孝</b> 本社 〒279-0024 千葉県浦安市港五四番地 苫小牧製鋼所 苫小牧市苫小牧一四五番地二四〇</p> <p><b>清水鋼鐵株式会社</b></p>	<p>代表取締役社長 <b>寫村 公宏</b> 〒047-8677 小樽市朝里川温泉一丁目一三〇 電話 〇一(一)三三三(三三三)二二八二 FAX 〇一(一)三三三(三三三)二二八三 https://www.hokkaidowine.com</p> <p><b>北海道ワイン株式会社</b></p>
<p>安心の医療環境を、未来につなぐ <b>taisho audit</b> 代表取締役 <b>千葉 豊喜</b> 株式会社大正オーデイト 本社 〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-21-1 二子玉川ライズ・オフィス7F TEL 03-6805-6251 FAX 03-6805-6252 WEB www.taishoaudit.co.jp 支店 札幌・福岡・名古屋(営)</p>	<p>代表取締役社長 <b>田尻 稲雄</b> 本社 〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル6階 TEL 011-612-1069 FAX 011-612-1068 URL https://www.msnw.co.jp 証券コード: 4350</p> <p><b>株式会社 メディカルシステムネットワーク</b> MEDICAL SYSTEM NETWORK GROUP</p>	<p>取締役 常務執行役員 <b>武田 卓也</b> 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 日本橋二丁目一番一 電話 〇三(三三三三三)三三三三</p> <p><b>ホッカンホールディングス株式会社</b></p>	<p>参議院議員 <b>鈴木 宗男</b> 新党 大池 代表</p>	



# 暑中お見舞い申し上げます

<p>株式会社中山組</p> <p>代表取締役社長 中山 茂</p> <p>執行役員 木下 昌光</p> <p>東京支店 東京都中央区新富一丁目一五六一番一 電話〇三三三五五二一三四四 本社 札幌市東区北一条東一丁目一 電話〇一一七四一七二二</p>	<p>代表取締役社長 中村 克久</p> <p>〒104 8530 東京都中央区入船三丁目三番八号 電話〇三六七三三三三〇</p>	<p>代表取締役社長 永田 武彦</p> <p>北海道北見市御町二丁目七番地三 電話(〇一五七) 六六一五五五番 FAX(〇一五七) 三六一三六三番 E-mail: kitamit@prodoc.ne.jp URL: https://hakka.be</p>	<p>代表取締役社長 富樫 泰介</p> <p>北海道新樹会・元事務局長</p> <p>〒062-0921 札幌市豊区中の島一条一六三二一〇四 電話・FAX 〇一一八二七〇七四 携帯 〇九〇一七九一〇〇一 Mail: xlgsm07937@yahoo.co.jp</p>	<p>公認会計士・税理士 鐵川 照夫</p> <p>事務所 東京都北区赤羽台3-1-19 錦貫ビル2階 TEL 03-3906-3363 FAX 03-3906-3200 E-mail: tetsukawa@pro.email.ne.jp</p>
<p>代表取締役社長 宮崎 英樹</p> <p>本社 札幌市中央区南一条西七丁目一六番二 電話 〇一一八一八〇〇〇 東京支社 東京都千代田区神田三丁目三番三 千代田トリドールビル 電話 〇三三三三二一九七六</p>	<p>代表取締役社長 三國 清三</p> <p>オテル・ドゥ・ミクニ</p> <p>東京都新宿区若葉1-18</p>	<p>代表取締役社長 似鳥 昭雄</p> <p>株式会社ニトリホールディングス</p> <p>〒115 0043 東京都北区神谷三丁目六二〇 TEL(〇三) 六七四一〇一一 FAX(〇三) 六七四二二八一</p>	<p>代表取締役社長 似鳥 昭雄</p> <p>株式会社ニトリホールディングス</p> <p>〒115 0043 東京都北区神谷三丁目六二〇 TEL(〇三) 六七四一〇一一 FAX(〇三) 六七四二二八一</p>	<p>代表取締役社長 成田 和幸</p> <p>日本ハウスHDグループCEO兼 代表取締役社長</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋四丁目三番八 日本ハウスHD飯田橋ビル 電話(〇三) 五二一五九九〇六 FAX(〇三) 五二一五九九二二</p>
<p>代表取締役社長 横平 聡</p> <p>地崎道路株式会社</p> <p>〒108 0075 東京都港区港南二丁目三三三二 電話 五四六〇一〇三二</p>	<p>代表取締役社長 横田 正弘</p> <p>株式会社 東洋実業</p> <p>本社 札幌市中央区北六条西二丁目二二七 電話(〇一一六二二) 九二(代表) 東京ビル 東京都新宿区西新宿一丁目六二番二 電話(〇三三四五) 〇五二二(代表)</p>	<p>代表社員弁護士 柳井 健夫</p> <p>弁護士法人 虎ノ門スクウェア法律事務所</p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-4 虎ノ門鈴木ビル4階 TEL 03-5408-1591 Takeo-Yanai@toranomom-square.com https://www.toranomom-square.com/</p>	<p>代表取締役社長 八木 秀記</p> <p>東京美装興業株式会社</p> <p>〒180-0023 東京都新宿区西新宿六丁目二四一 西新宿三井ビルディング 電話 〇三(五三三三) 二七二二</p>	<p>「建物・人・生活に やすらぎと豊かさを生み出す」</p> <p>代表取締役社長 八木 秀記</p> <p>東京美装興業株式会社</p> <p>〒180-0023 東京都新宿区西新宿六丁目二四一 西新宿三井ビルディング 電話 〇三(五三三三) 二七二二</p>

## 公益社団法人北海道倶楽部役員 (令和6年6月現在)

鐵川 照夫	澤野 正明	▽ 監事	立野 嘉之	三國 清三	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長	川村 隆長	▽ 評議員会議長
鐵川 照夫	立野 嘉之	高田 聡	武田 卓也	松田 克也	阿部 修平	▽ 理事	間瀬 雅晴	阿部 修平	▽ 理事	岡村 進	▽ 理事、相談役	本間 修	有末 真哉	▽ 副理事長	鈴木 秀一	兼常務理事	▽ 副理事長	大久保 尚武	▽ 理事長	小池 明夫	▽ 副会長		

# 公益事業へのご寄附をありがとうございます！

株式会社北洋銀行	日本甜菜製糖株式会社	鈴木秀一	清水鋼鐵株式会社	佐藤育男	数納壽	有末真哉	五万円	本間修	ホックンホールディングス株式会社	古河電気工業株式会社	株式会社日本製鋼所	株式会社ニトリ	株式会社大正オート	株式会社ス・グル	岡村進	大久保尚武	十万円	川村隆	五十万円
株式会社北信工	五十嵐紀男	一萬五千元	株式会社明治	戸田建設株式会社	小池明夫	二万円	株式会社ロジネット	株式会社レオパレス21	株式会社メディカルシステムネットワーク	三ツ輪運輸株式会社	本多一夫	鳩山由紀夫	株式会社北見ハッカ通商	岩倉建設株式会社	三万円	無臭元工業株式会社	間瀬雅晴	北海道糖業株式会社	株式会社北海道銀行
中村裕之	十勝毎日新聞社	地崎道路株式会社	株式会社田中組	高橋照美	公益財団法人ふきのとう 文庫倉代表理事 高倉昌	鈴木宗男	澤野正明	サンクスホールディングス株式会社	香西慧	栗林商船株式会社	河田京子	上條努	乙部正隆	大西幸男	株式会社オーテック	上野徹	岩田地崎建設株式会社	伊藤組土建株式会社	一万円
(順不同・敬称略)	北海道テレビ放送株式会社	三千元	松島照彦	株式会社マツオ	富樫泰介	手島孝雄	辻口事務所 辻口正雄	立野嘉之	山形北方領土倶楽部 顧問 榎本幸一郎	荒井聰	五千元	山本隆幸	南木武輝	丸彦渡辺建設株式会社	北海道フードフロンティア株式会社	船橋利実	野村洋	日本ジェネティクス株式会社	

寄附件数 69 件 寄附総額 2,586,000 円 (2024年7月23日現在 目標 2,847,000 円)  
 ※寄附は通年受け付けています。事務局までお気軽にお問い合わせください。

## 令和6年度寄附のお願いについて

**1. 寄附募集先と寄附の目的**  
 ・広く、一般の方を対象に寄附を募るものです。どなたでもご寄附いただけます。  
 ・北海道倶楽部の当年度の公益事業に充てます。但し、次年度以降の公益事業に充てる場合があります。

**2. 寄附の種類**  
 ・別表の区分により寄附を募集します。それぞれ何口でも、組み合わせ自由で応募いただけます。  
 ・なお、ご寄附を頂いた場合、広報紙「北海道NOW」を1年間送付(倶楽部会員ではない方)するほか、寄附者名を「北海道NOW」に載せ、北海道倶楽部の各キャンペーン集会にご案内することなどを行っております。

**3. 寄附以外でのご協力のお願い**  
 ・あわせて会員の勧誘、維持会員の口数増のご協力、北海道倶楽部の各種メディアへの広告出稿、キャンペーンイベントの御協賛ほかにもご協力をお願いいたします。

● **寄附応募のご連絡の方法**  
 ・倶楽部ホームページ ([http://www.hokkaido-c.or.jp/\\_jump/寄付/寄付のお願い.html](http://www.hokkaido-c.or.jp/_jump/寄付/寄付のお願い.html)) に申込書がございます。そちらにご入力の上、倶楽部にメールかFAXでご連絡をお願いします。右のQRコードからもページへアクセスすることができます。  
 ・倶楽部より寄附申込書類の送付をご希望の方はメールかFAXにてお知らせください。  
 ※振込用紙、お振込依頼書が必要なく、直接ご入金なされる場合は、ご入金の際の振込人名、寄附金額、振込日、ご住所、連絡先電話番号もしくはメールアドレスをご記載のうえ、倶楽部までご連絡をお願いします。  
 (個人でのご寄附の場合、受領証明書の発行の際にご住所が必要となりますので、必ずご記載ください。)

(A)	一口 100 万円
(B)	一口 50 万円
(C)	一口 10 万円
(D)	一口 1 万円
(E)	一口 5 千円
(F)	一口 3 千円
	任意の金額も可

